

## 会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第2回）
開催日時	平成20年1月31日（木曜日）午後3時から午後4時30分
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	（委員）有澤会長・宍戸副会長・大河原委員・長沢委員・伊藤委員・終夜委員・井浦委員・横田委員・飯塚委員・稲垣委員・柳父委員・若木委員・清水委員・奥隅委員 （欠席）幸内委員・新委員 （事務局）富田学校運営課長・杉山係長・猿谷主事
議題	1 西東京市立小学校給食について 2 物価上昇に伴う給食費について 3 議題について
会議資料の名称	1 給食費の現状について 2 学校給食の目標 3 平成19年度＜第1学期＞学校給食用一般物資供給価格表 4 平成19年度＜第3学期＞学校給食用一般物資供給価格表 5 西東京市立小学校給食費の推移 6 小学校給食費等推移一覧表
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>有澤会長 事務局より進行について説明していただきたい。</p> <p>富田課長 給食について基本的なことを共通認識していただき、実質審議は4月以降と考えている。本日は、小学校給食の現状・現況の把握について、三つに分けて説明させていただきたい。一つ目は、学校を取り巻く状況を栄小学校長である宍戸副会長から、給食については栄養士選出の委員から、二つ目は、物価上昇に伴う給食費についてを事務局が説明し、三つ目は議題についてを説明させていただきたい。</p> <p>有澤会長 事務局から説明があったとおり、本日は3点に分けて進行するがよろしいか。</p> <p>全員了承</p> <p>議題1 西東京市立小学校給食について 宍戸副会長 市内に市立小学校は19校あり、全校に栄養士が配置され、各小学校で給食を調理している。給食は児童にとって楽しい時間であるが指導の時間でもあるので、好きなものばかりではなく、地場産野菜、他国の料理などを取り入れたり、バイキング給食・他学</p>	

年との交流給食を実施し、楽しみながら学習している。子どもたちが食に関心を持ち、自分のためにどのようなものを食べていけばいいのかということを考えて、実行できることが必要であるため食育が重要になってきている。西東京市の小学校では、栄養士が中心となって食に関する指導をしている。また野菜などは市内の農家から、作っている過程を確認し勉強できるので取り入れている。これにより新鮮で生産者の顔が見られるということで安全な給食を提供することができ、野菜嫌いな子どもも、少しずつ食べるようになってきている。

伊藤委員

配布資料の「給食費の現状について」は、先日の栄養士会で出された意見を集約したものである。小麦や原油高等の上昇で、食品や調味料だけではなく物価全体が高騰している。このような状況で、限られた給食費の中で運営することは悩みのひとつである。赤字にしないため栄養士が情報交換し、様々な工夫を取り組んでいるが、厳しい状況である。東京都の栄養所要量の基準に沿った給食を実施しているが、給食費との兼ね合いで難しい状況にある。

長沢委員

安全性が確認されない食材は使わないので、どうしてもある程度の価格になることから、量を減らしたり質を下げるようになってしまう。

横田委員

子どもが大きくなり食べる量が増えたこともあるだろうが、学校からお腹がすいたと言って帰ってくるので聞いたところ、給食の量が減っていると言っている。

有澤会長

「給食費の現状について」の裏面に、自治体によっては業者と物資の単価契約をし、入札方法で安く購入できるとある。西東京市の現状はどうか。

伊藤委員

栄養士会で出された意見なので、どこの自治体かは把握していないが、共通献立の自治体であると聞いている。西東京市では実施されてなく、実施する場合は、教育委員会の協力が必要となる。

富田課長

東京都学校給食会で統一した価格の設定をしている。配布資料の学校給食用一般物資供給価格表がそうである。

議題2 物価上昇に伴う給食費について

杉山係長

学校給食用一般物資供給価格表では全126品目ある。その中で第1学期と第3学期を比較すると、6品目価格が下がり、34品目価格が上がった。牛乳についても平成13年度では保護者負担額は36円53銭だったのが、平成20年度では41円72銭に上がる。一方給食費は、平成13年度から今年度まで同じ金額である。

有澤会長

給食費の推移を見ると給食費は平成13年度から変わっていないが、給食回数は平成16年度から2回増やし、年間187回になっている。これは授業時間を確保するために増やしたと思うが、今後も増やす方向なのか。

穴戸副会長

現状のままでいいという学校もあるが、学習指導要領での授業時数の増加動向や二学期制を取り入れている学校のこともあり、回数を増やしてほしいという状況である。

長沢委員

各市の給食費一覧があるが、独自で補助金を出している市もあるのか教えてほしい。

富田課長

次回までに調べる。

### 議題3 議題について

終夜委員

給食費の値上げについて検討してほしいとのことだが、平成21年度分を1年間かけて議論するのか、平成20年度分について議論するのか教えてほしい。

富田課長

食材費の上昇が激しいので、これ以上対応できない状況になれば、平成20年度から改めなければならないことになる。対応できる場合、校長会から給食回数の増と給食費の値上げの要望が出されているので、時間をかけて議論するようになる。現状では緊急ではなく、時間をかけて審議をしていただきたいと考えている。平成16年度に給食回数を2回増やしたが、給食費の値上げをせず、1食あたりの単価を下げ対応した。当時は物価の上昇率が低かったが、今回は状況が違っている。また、給食費未納問題が大きなテーマになり、市議会でも多くの質問を受ける。値上げ、回数増、未納問題への取り組みがテーマだと考えている。

有澤会長

今日までは学校給食の現状について話し合い、4月から何を審議するかということになるが、校長会から給食回数を増やしたいから給食費の値上げをしてほしいとの申し出があること、栄養士会からは物価の上昇に対し、質を落とさず内容を維持するためには給食費の値上げはやむを得ないとの説明があった。本日までに出了された資料や説明を踏まえて4月からの議題を考えるということが共通認識された。給食費未納問題については、報道を見ると自治体で様々な対策をしているが、西東京市でも市議会で対策をしてほしいと言うことが出てきた場合に検討すればいいのか。

富田課長

現在では口座引き落としだが、これがいい方法なのか各市が検討し始めている。保護者に無理がなく、どのような方法が妥当であるのか検討していただきたい。

終夜委員

未納者に対して給食を出さない学校があると報道されたが、これは市議会で諮らなければならないのか、校長判断でできるものなのか教えてほしい。

穴戸副会長

学校は給食を実施することが基本なので、給食費を払わないから食べてはいけないと言えることではないだろう。制限をしている学校もあるようだが苦肉の策でしているのだろう。市議会に諮って判断するものではない。

有澤会長

保護者が払わないのであり、学校では、その子どもだけに給食を出さないわけにはいかない状況にある。未納世帯には校長・副校長が家庭訪問をしたりして納付を促しているが、なかなか応じてくれない現状がある。未納問題は給食費に関係すると思うが、どこまで審議するかは4月以降の議題によることになるだろう。

有澤会長

次回会議は新年度に開催する。以上で本日の会議を終了します。